

小樽地区 教育経営研究会

- 1 目的 学校経営に関わる諸課題並びに法制上の諸問題を解明し、校長としての職能向上を図り、学校経営の円滑な推進に資する。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会 小樽市校長会
- 3 後援 北海道教育庁後志教育局 小樽市教育委員会
- 4 主管 小樽市校長会
- 5 日時 令和3年8月3日(火)
- 6 会場 ジブラルタ生命ビル 3階会議室 (小樽市色内3丁目2-1)
- 7 参加者 小樽市立小中学校長他(32名)
- 8 日程 13時00分～13時20分 開会式
13時20分～13時50分 経営研究会Ⅰ(一般情勢説明)
14時00分～14時55分 経営研究会Ⅱ(質問・要望事項等への回答と協議)
14時55分～15時00分 閉会式

9 経営研究会Ⅰ

(1) 一般情勢説明(北海道中学校長会 会計理事 村上 俊一 氏)

①北海道小学校長会、中学校長会の活動や役割、組織について

- ア 道小と道中のあゆみ、仕組み、北海道教育委員会との関係等の説明
- イ 最大の柱は教育研究大会 次年度は道小が旭川大会、道中が札幌大会

②一般情勢について

- ア 教育改革：特別支援学校の設置基準を明確化
- イ デジタル教科書：学びの保証、令和6年度に本格導入予定
- ウ コミュニティスクール：CSは独特ある学校づくりの第一歩
- エ 道立高校の配置計画について
- オ 小中学校で、標準事業時数の弾力化
- カ 校務支援システム、デジタル採点システム、全国学力調査CBT化
- キ 不登校生徒のICTを活用した在宅学習も出席カウント
- ク いじめ対応で5事項を通知、いじめ問題に適切に対応、北海道こどもLINE相談
- ケ スポーツクラブ登録制度 等

10 経営研究会Ⅱ

(1) 質問要望事項への回答 (北海道小学校長会 経営部副部長 四戸 基樹 氏)
(北海道中学校長会 研修部幹事 田丸 明史 氏)

①校務支援システムについて

- ア 教職員の校務の負担軽減が目的、導入率は60%程度
- イ 校務効率化やデータ共有等→「働き方改革」の推進
- ウ システム導入時の負担や、在宅での勤務の困難さが課題

②教科担任制について

- ア 教科指導の専門性、授業の質の向上、教師の負担軽減、児童生徒の学力向上
- イ 多面的な児童生徒理解、小中間の円滑な連携
- ウ 北海道としても国の動きに合わせて対応

③公務員定年延長について

- ア 定年の段階的な引き上げ、役職定年制（管理監督勤務上限年齢制）の導入
- イ 60歳に達した職員の給与について（3割減となる） ※関心が最も高かった
- ウ 高齢期における多様な職業生活設計の支援（北海道も定年延長に向け検討中）

④質疑応答について

公務員定年延長にかかわり、退職金はどのように変わるのかという質問があった。
→（回答）退職金に関する情報は現時点ではない

11 閉会式 小樽市校長会 副会長 宮澤 知 より、謝辞ならびに主催者を代表しての挨拶で閉会